



つのちよう

第67号

議会だより

遅咲きのヒマワリ（姫野々）

9月定例会

主な紙面

令和3年11月1日発行

令和2年度各会計決算を認定	2P～3P
“ここに注目”行政報告	4P～5P
議案一覧	6P～7P
町政を問う（7人が一般質問）	8P～19P

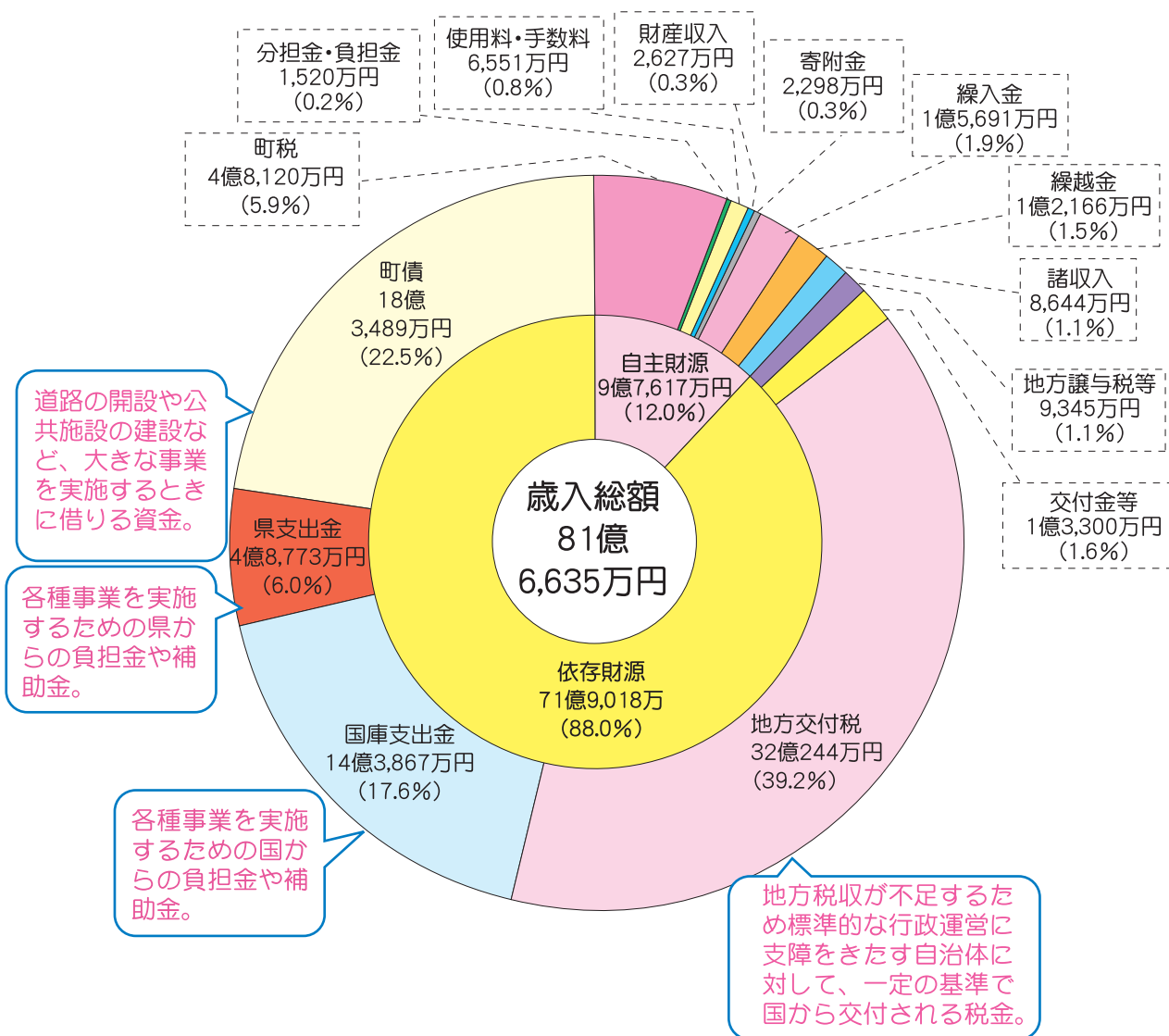
発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎芳章
印刷 有笹岡印刷所

令和2年度一般会計・各特別会計決算を認定

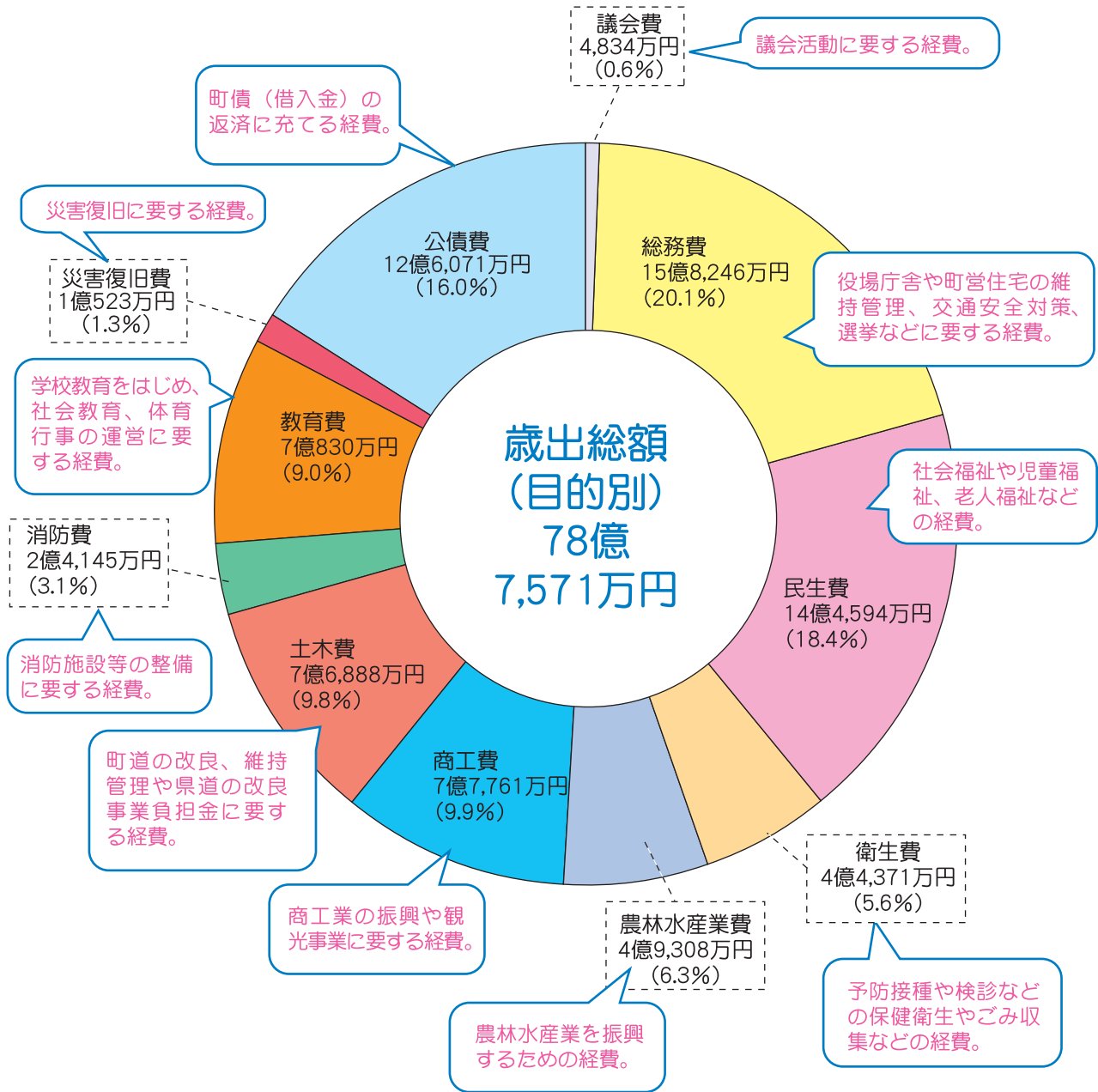
一般会計 町債（借金）現在高69億6,782万円（対前年5億9,126万円増）
基金（貯金）現在高91億8,098万円（対前年1億198万円減）

9月定例会は2日から9日まで開かれ、令和2年度財政健全化判断比率、資金不足比率の報告、令和3年度一般会計補正予算をはじめ報告2件、承認1件、議案8件を原案のとおり承認・可決した。また、総務常任委員会に付託された令和2年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。

一般会計歳入 81億6,635万円



一般会計歳出 78億7,571万円



会計別の決算額

単位：万円（端数切捨て）

合計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		81億6,635	78億7,571	2億9,064
特別会計	国民健康保険事業勘定	6億7,659	6億5,585	2,074
	直営診療施設勘定	1億4,554	1億4,554	0
	介護保険事業	7億4,095	7億3,119	976
	簡易水道事業	4億7,922	4億7,922	0
	生活環境施設整備	6,740	6,740	0
	後期高齢者医療	1億361	1億297	64
	合計	103億7,966	100億5,788	3億2,178

心に注目!!

本庁舎の整備を！

なぜ？

- 本庁舎は昭和59年に建築され、37年が経過。
- 防災拠点施設の耐震性が満たされていない。
- 近年の行政需要に対し、庁舎機能が不十分。
- 今なら合併特例債・まちづくり振興基金を活用可能。

- 職員のプロジェクトチームによる業務や組織体制の検討。
- 有識者を含めた検討委員会組織の立ち上げ。



津野町本庁舎整備基本構想の策定

稼ぐ観光を

- ☆ 雑誌、ラジオ、SNSでの情報発信。
- ☆ スマートフォンでのスタンプラリー。
- ☆ 既存商品の増産や新商品の開発。
- ☆ 観光素材の創生や磨き上げ。

地域経済の振興





池田町長

行政報告

ここに注目!!

令和2年度財政健全化の状況

財政の判断指数が次のとおり報告されました。

実質公債費比率 = Δ 7.8 %

実質公債費比率とは、借入金の返済額を、財政規模の割合で表したもので、津野町は全国でもトップクラスの健全財政です。

(プラスになるほど返済額が多くなって財政状況が悪くなります。)

ワクチン接種

- ★ 7月末までに65歳以上が概ね完了
- ★ 8月31日時点の65歳未満の接種希望者2,073人が10月中旬に完了予定。



コロナ禍

イベントの中止

- 津野町夏まつり
- 町民運動会
- ツノチャ・マルシェ

報告
第15号

令和2年度財政健全化判断比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第3条第1項の規定により、令和2年度決算に係る財政健全化判断比率を、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

報告
第16号

令和2年度資金不足比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第22条第1項の規定により、令和2年度公営企業会計決算に係る資金不足比率を、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

承認
第8号

承認

専決処分の承認

令和3年度津野町一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,250万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ58億5,250万円とする。

議案
第41号

可決

津野町事務分掌条例の一部を改正する条例

現在実施している事務分掌と条例に乖離（かいり）があるため、実際の事務分掌とするために所要の改正を行うもの。

議案
第42号

可決

津野町手数料徴収条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正等に伴い、津野町手数料条例の改正を行うもの。

議案
第43号

可決

令和3年度津野町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,150万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億400万円とする。

議案
第44号

可決

令和3年度津野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ事業勘定120万8千円を増額し、直営診療施設勘定528万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ事業勘定7億1,265万4千円、直営診療施設勘定1億6,707万4千円とする。

議案
第45号

可決

令和3年度津野町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,842万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8億2,400万5千円とする。

議案
第46号

可決

津野町過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月31日で期限を迎えたことから、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が議員立法で制定されたことに伴い、同措置法第8条第1項の規定により、別冊「津野町過疎地域持続的発展計画」を定めるに当たり議会の議決を求めるもの。（計画期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日）

議案
第47号

可決

辺地に係る総合整備計画の変更について

床鍋辺地において橋りょう整備事業の追加により計画を変更するもの。

議案
第48号

可決

津野山広域事務組合の共同処理する事務の変更及び津野山広域事務組合規約の変更について

令和3年10月1日より高幡東部清掃組合でゴミ処理の共同処理がはじまり、津野山広域事務組合での共同処理が終了する予定であることから津野山広域事務組合の規約を一部変更することについて、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

認定第1号
 第6号の令
 和2年度決算は、
 9月3日に実
 施された総務・
 産業建設両常
 任委員会によ
 る決算連合審
 査会において
 各会計ごとに
 丁寧な審査を
 行った。



令和2年度津野町一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入81億6,635万5千円、歳出78億7,571万7千円となった
 令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



令和2年度津野町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入6億7,659万3,135円、歳出6億5,585万4,422円となった
 令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



令和2年度津野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出それぞれ4億7,922万8,843円となった
 令和2年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



令和2年度津野町生活環境施設整備特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出それぞれ6,740万4,843円となった
 令和2年度生活環境施設整備特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



令和2年度津野町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入7億4,095万7,265円、歳出7億3,119万7,180円となった
 令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



令和2年度津野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入1億361万4,653円、歳出1億297万6,734円となった
 令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める
 意見書について**

意外と知られていない政治家のルール！！

これらも公職選挙法違反になります

お歳暮・お年賀



選挙区内への
 年賀状や暑中見舞い
 (返礼のための自筆
 によるものは可)





川上 智子

問 説明不足だ

答 ご指摘通り

川上

住民からの問いかけに対し中間・結果報告がなく、役場や職員に対する不満や不信感につながっていると考ええる。コミュニケーション不足だ。町長、副町長の見解を聞く。

池田町長

ご指摘の通り。しっかりと町民の思いに答えていくことが責務。反省し職員に周知していく。

岡崎副町長

町民と職員が互いの知らないことも課題。コロナ禍が収まったらできるだけ町内に出るようになりたい。町民の皆さまも職員に声をかけてほしい。

問

みんなが集える公園に

答

修繕・塗り替えを進めたい

川上

西運動公園にある遊具の劣化が激しく、この状態では安心安全に使用できない。公園の現状をどのように捉え今後、どのような視点に立って整備していくのか。

久寿教育長

職員が目視で確認し、撤去や修繕を行っている。今年度は専門業者での調査を実施。危険な遊具は、現在使用禁止としている。今後修繕、塗り替えを進めたいと考えている。



整備中のブランコ

池田町長

子どもたちが安全に遊べ、そして地域の方の憩いの場であってほしい。今後は保井川団地の空きスペースの活用も含め、どうすべきか検討したい。



西運動公園

その他の質問

問

観光客にやさしい看板設置を

答

パンフレット、ホームページ等に対応

問

ヘルメット購入に新たな補助制度の創設を

答

状況を見極めて判断

問

芸能や文化、郷土の偉人等を紹介し観光に繋げる場の整備を

答

住民と触れ合うことが大事

問 次年度に繋げるために話し合いの場を

答 子どもたち・家庭にとってより良い方向に

川上

長期休暇中、子どもの預け先がない共働きやひとり親家庭の保護者が安心して仕事・子育てのできる環境整備を提言。放課後子ども教室期間拡大等の新たな取り組みにより、その間保護者のニーズに応える事ができたと思う。

この事業の評価と課題や今後の取り組みについて問う。

久寿教育長

今「子育てプロジェクトチーム」を組織し、あらゆる観点から模索中。評価については、現在アンケートを実施しており集計後決まると思う。

今後、子どもたち・家庭にとってより良い方法を決めていく。

池田町長

各地域で子供たちを見守ることができるのが理想であるが、課題は人材と施設。

教育委員会ともしっかり議論しながら今後のあり方を検討していく。



放課後子ども教室



問 西区の資料館どうなっているの

答 取り壊しに

川上

西区にあった資料館の現状は、町民から提供いただいた民具や資料は現在どのようになっているのか。

久寿教育長

平成23年に両地区の台帳を作成。東区に2千800点、西区に500点余りの民具がある。

自然休養村管理センターは耐震でとり壊すことになり、2階にあった資料で緊急性のあるものは郷土資料館へ移し、その他は旧保育園に保管している。



現在の自然休養村管理センター（新田）



田中一孝

問 記念誌の発行は
答 実行委員会で協議中

田中
葉山小学校が開校150周年を迎える。記念誌や記念行事の取組みの現状は、財政的支援がなければ行政として無責任ではないか。

久寿教育長
葉山小学校卒業生、PTA等の代表者12名の委員で組織し記念誌の内容・写真・資金面等の話し合いを進めている。教育委員会として協力していきたい。

池田町長
今回の取組みは葉山小学校の皆さん・地域の皆さんが主体となり行われていることは大事にしていきたい。財政支援をすぐに持ち出す話ではない。必要なサポートをしていきたい。



葉山小学校

問 河川域の施設や公園の整備拡充を
答 ハードルが非常に高い！

田中
近年アウトドア志向が広まり、またコロナ禍により河川域で過ごす人が多い。新土居の施設や姫野々親水公園をこの機会に整備・拡充を行えないか。

池田町長
新土居河川敷は県管理であり整備のハードルが非常に高い。親水公園は民有地で借り受けである。駐車場が全くなく、今以上に広めるのは難しい。



姫野々親水公園

田中

国道197号は震災時の重要ルートである。西谷の瀧山が崩落すると国道が停まる。姫野々から新土居まで南岸にルート変更を上申できないか。

問 南岸ルートへ変更を！

答 不可能に近い



瀧山を望む

池田町長

県土木も危険性を承知し防護柵やネット・法面対策をしている。県の災害時の緊急輸送道路対策は27%程度。県内の緊急性ある所から進められており、不可能に近い。

田中

高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画がスタート。高齢者の健康寿命を延ばし、要介護者を増やさない取り組みは。

下元介護福祉課長

要介護調整済認定率は10.3%。全国平均の17%、県平均15.6%に対し津野町は県で最も低い。介護予防活動に成果が出ており、さらに運動・栄養・社会参加等の充実促進に取り組む。

問 重点課題・目標は
答 高齢者の社会参加



セラピーで元気づくり

その他の質問

問 津野町二十年史の発行について

答 本年から4年かけて津野町史を発行予定

問 新莊川、鯉の食害で生態系は変化！

答 清流保全協議会へ

問 自主防の活動状況や現状の課題は

答 現在、57地区組織されているが防災リーダー育成が課題



不入溪谷



大地 真人

問 観光業への取り組みは
答 費用対効果を見極める

池田町長
 町内の観光資源は、町外の方々から見て非常に可能性がある。県にはアドバイザーによるバックアップ体制がある。整備には多額の経費もかかると思われるため、費用対効果を見極め、ソフトとハード両面で整備計画を立てなければならぬ。人の流れを作り、経済効果をあげていきたい。

大地
 星降るヴィレッジTENNIS、フォレストアドベンチャー高知、せいらんの里等、施設の完成とともに埋もれた観光資源の発掘、整備を。町内を西から東まで回れるルート作りを。



不動岩

一般質問



東津野中学校制服

問 定住、子育て支援は
答 声を聴き新たな施策も

池田町長
 昨年10月に子育て世代包括支援センターを設置。来年1月にこども家庭総合支援拠点を設置予定。高校生までの医療費無料化や通学補助等行っている。現在入学時に応援金制度を設けている。制服支援制度は無いがPTAの声も聴き経費の分からない仕組みも考えている。

大地
 現状の定住対策、子育て支援と今後の具体策は。中学入学時の制服購入等支援はできないか。
 移住定住対策、子育て世代が安心して居住できる環境づくり、魅力ある子育て施策、特色ある教育環境の提供に取り組んでいる。
 「住」については姫野々、北川の宅地分譲、ステップ住宅、Monte家、PFI方式の地域優良賃貸住宅、若者定住促進住宅取得奨励金、空き家改修の補助等がある。

問 農林業への支援は
答 事業の活用を

大地

農家の高齢化、若者の農業離れにより町の農業も衰退の一途だが新規就農者、親元就農者等に対する支援は。

自伐林家に向けたアンケートの結果と意図は。新規就農者の育成や支援に考えは。

池田町長

林業者、農業者の確保は大きな課題であるため、国や県の制度を積極的に活用している。町独自では空きハウス利用推進や本年度からの小規模土地改良事業実施に向けて協議中。新たな事業創出しながら産業振興を進める。

戸田産業課長

令和元年にアンケート調査を実施。個人で機械購入の要望があった。津野町、

須崎地区森林組合とも協議し、レンタル方式で事業化を検討したが困難であるとの結果になった。町は林業機械のレンタル料補助を75%まで高上している。生産コスト低減の施策とし今年度より作業路補修事業を創設し支援を行っている。



プロセッサー

問 高刈り整備について

答 協議し対応



グラップル

大地

町道や公団幹線林道で通行に支障の場所がある。災害時に緊急車両の通行が妨げられる可能性もあるが対応は。

吉村建設課長

主要な道路や観光地へのアクセス道では地権者の了解を得て町が作業している。生活圏域の道路は地域の方の協力に対応。平成30年度に町道管理サポート事業を新設し距離に応じ費用や高所作業車等の借上料に交

付金を支給。林道等の高刈りは、走行に支障ない形に対応しているが内容に応じて協議しこれからも行っていく。

その他の質問

問 農事放送を行って

答 は農協のネットワークで対応を



竹村 博仁

問 生産者支援は
答 所得向上を目指して

ふるさとセンター



竹村

生産意欲の向上とふるさとセンター直販事業の売上げを拡大するため、出荷手数料10%補助や、肥料配布の対象拡大等、町独自施策で生産者を支援しては。

池田町長

アドバイザーによる生産・作付の指導や、チャレンジ応援事業による新たな商品開発の支援等を行っている。さらなる所得向上に向け、町内消費へのリンクを図ることや、買取販売等についても検討している。

ふるさとセンターは経営的に厳しく、町が集荷作業を50万円ほど委託することにより出荷手数料20%にできており、この水準を維持すべきと考えている。一方で、生産者の自信をもった価格設定により所得向上につなげていただきたい。

戸田産業課長

生産者の出荷意欲向上施策として肥料配布を行っているが、より効果的な支援・施策を協議しながら進める。



問 耕作放棄地の対策は
答 施策のほかに・・・



集荷作業

竹村

中山間地域等直接支払制度から外れ、荒れた耕作地対策は。

池田町長

昨年からの第5期では第4期に比べ4協定、40ha減少し、50協定、約300haとなっている。

小規模土地改良事業やハ

ウスの活用推進などの施策により農地保全を図りたい。また、協定内での農地を守るための議論も大切であり協定の活動を支援していく。

問 景観の維持向上を
答 課題を踏まえて

竹村

観光客に感動を持ち帰っていた。ただ、ための第一歩が明るい環境。集落や道路を暗くしている樹木の伐採を生活環境林伐採事業で推進しては。

池田町長

生活環境林伐採事業は、旧葉山村の事業を、合併後も議論のうえ実施してきた。以前は、日照や景観維持向上などの目的にも補助をしていたが、公平性確保の観点で事業を絞ってきた。生活に支障がでるほどの現状も認識しているが、地主が町外に居て理解が得られない、伐採費用が高騰しているなどの課題もあり、それらを踏まえた町民の要望に答えられるような制度となるよう議論していかなければならぬ。



日照・景観を悪くしている樹木

戸田産業課長

地域の生活に密着する公共施設、集会所、町道等の環境保全を目的とする支障木の伐採について最大15万円を補助するもので、例年3件から5件の事業実績がある。

一般質問

問 道の草刈を

答 よい方法を探ろう



道路を塞ぐように伸びた草

竹村

転出者が実家周辺の草刈や溝掃除などを行っている。例えばタオルを地区長が推薦する人に贈呈する施策を設けては。

道の草が伸びないうちに紐刈りを頻繁にしては。

池田町長

タオル贈呈施策など、町民みんなで美しい集落・里山景観を保つ方法を探りたい。

吉村建設課長

国道と県道は年2回、危険な場合などは要望に応じて草刈している。

生活圏内の道路は、町道管理サポート事業により支援している。

生活圏外は、道路管理作業員を雇用。簡易な災害復旧事業もあるため、使用頻度の高い道路を中心に実施している。

そのほか観光地へのアクセス道路は、業者や地元集落活動センターへ業務委託している。

効果的に草刈するには優先順位と作業時期の設定や地域の協力が重要。方法なども課題として議論していく。

その他の質問

問 改正食品衛生法に伴う出荷者の支援を

答 食品衛生責任者受講費用を補助。

問 効果的な害獣対策を
答 猟友会も含めた組織で検討



中山昭英

問 避難所の安全確保は

答 順に整備



新土居健康管理施設の裏山

中山 土砂災害特別警戒区域内にある指定避難所の安全確保ができていない施設が問題となっている。早期に山留壁を実施して安全対策をすべきでは。また避難所の暑さ対策として総合センターとB&Gの施設に換気扇の設置工事をしているが、他の施設にも設置するのか。

池田町長 森の巣箱は急傾と砂防について県に要望しており、新土居健康管理施設は危険箇所が一部のため難しいが、県単事業を協議している。感染防止対策や換気扇の整備など15カ所すべての指定避難所の整備は優先順位や非常電源などを考慮しながら整備していく。

中山 高齢者だけの家庭が多くなっており生活の悩みや不安などを相談できる話し相手や身近にほしいと思っている。地区内を「向こう三軒両隣」の小グループに分けてグループ内で見守りあうシステムを作れば安否確認や孤立死を防げ、日常生活の不安解消に繋がるのではないかと。

問 向こう三軒両隣で

答 自主防災組織に

池田町長 防災だけでなく、地域づくり、地域活動を活性化させようと取り組んでいる。その中で地域の中に高齢者の生活実態に合わせた防災意識を作ることによって地域を強化していきたい。

大坂総務課長 災害時には行政機能がなくなる恐れもあり、自分の命は自分が守ることが大切である。

高齢者には周りのサポートが必須であり、隣近所を含めた地区単位の防災知識の向上と家具の固定等の対策を、自主防災組織が先頭に立って高齢者を守る行動をお願いしたい。



問 コロナ禍での移住・定住への取り組みは

答 情報発信の組織づくりを

移住されてきた方との話し合い



中山

コロナ禍で都会より安全な田舎暮らしが選択されている。津野町にとっても取り組みやすい環境になったのではないかと。

町で移住者トップの島根県飯南町などの先進地の事例を学んで早急に施策を講じるべきではないかと。

池田町長

住める環境づくりも一つの課題であり、新田地区に地域の方、移住者、協力隊を含めたメンバーで相談やコミュニケーション、情報発信できる組織・場所を作ろうと取り組んでいる。

三本企画調整課長

コロナ禍でライフスタイルが大きく変化し、都市部からの移住を希望する若者が増えていると聞いている。移住に必要な空き家の確保に努めながらウェブ相談会を開催している。

今年、東京都内での津野町単独セミナーや、東京農大の協力による都市部での情報発信をする予定であるがコロナ禍で実施できない。

中山

3月議会の答弁では取り組みを継続して支援することであった。若者の集い・楽しみ・出会い・やりがいの場となる大切な取り組みである。半年たったが、進捗状況と立ち上げ時期は。

問 青年団の復活は

答 着手しているが・・・

久寿教育長

少年高齢化が進む中で青年団活動が大事な役割を担うことから組織づくりに着手している。

コロナ禍の中で、自分たちの役割がどうしたら喜びに変わるか意識できる人材を構築し、発展的に交流イベントを企画できる体制を目指している。



第52回高知県青年大会in津野町

一般質問



高橋 眞一郎

問 さらなるPRを

答 SNSや口コミで

高橋

ステップ住宅・Monte家等への入居10年以内に定住する目的で個人住宅を取得した場合に支給される定住奨励金の現在までの交付状況は、ステップ住宅は平成18年度から始まり、令和元年度まで11件、Monte家が平成29年度から始まり1件、合計94万1千498円交付されている。また、若者定住促進住宅取得奨励金の実績は83戸、8千650万円である。今後さらにPRをしていく考えはあるか。

池田町長

魅力あるまちづくりを発信しているが、それ以上に、若く子育てガイドで、若い方々の間でSNSも含めたネットワークが広がっており、口コミで定住につながっている。



Monte家



ステップ住宅

問

泉工場の跡地は

答

住宅団地としては理想の場所

高橋

6月で閉鎖した泉衣料(株)葉山工場を町が取得し団地化すれば、移住・定住の受け止めができると思うかどうか。上井田の道から国道へ直結するバイパスをつくることにも取り組むべきだと思いませんか。

池田町長

町への譲り渡しも考えられると聞いている。住宅団地としては理想の場所の一つだが、様々な課題もある。バイパスは、ハードルが高い。



泉衣料(株)葉山工場



西元和代

西元

带状疱疹ワクチンは現在全国で12自治体が公費助成をしている。
本町の住民基本台帳をもとに発症率や効果年数等を考慮し50歳からの半額助成を算定すると約3千万以上の医療費削減となる。何より痛みや後遺症を防ぎイキイキ暮らせる元気な津野町を目指すためにも再検討を。

問

带状疱疹ワクチンの助成制度を

まずは専門家の意見聴取

池田町長

まずは带状疱疹を町民に知っていただくことが重要。全国健康関係主管課長会議によると定期接種について評価・検討中とのこと。県や国の動きに注視する。経費の試算は参考にさせていたいただきたいが、医療費は全額町負担ではないので吟味が必要。
定期接種になることを望むが、ワクチンの評価や議論の余地は十分ある。統計的な数値がないため、まずは診療所の医師等、町の専門家の意見を聴き、状況把握に努める。



一般質問

問 シルバー設置で住民組織の危機？

答 衰退させないよう慎重議論

西元

シルバー人材センターの本来の意義は社会貢献を通じた健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉向上と活性化であり長時間の雇用を想定していない。これまで進めてきた住民主体が壊れるのでは？
全国ではシルバーによる取り組みも聞かれる訪問B（住民主体の生活支援サービス）についてはどうか。コーディネーターのあり方も含め検討を。



みんなで草ひき

池田町長

地域の人手不足、高齢者の生きがいづくり、社会参加を踏まえ検討中。国の補助を受けるのに100人以上必要な働きたい人はアンケートで109人とギリギリ。須崎・中土佐のシルバーへの加入も含め検討している。
集落活動センター等、地域で支えあう貴重な資源は衰退させないよう慎重な議論が必要。
訪問Bに関しては利用しやすい形や補助を受けても赤字のところが多いことからシルバー以外で作っていかねければならないと思っている。シルバーを置かないからコーディネーターが必要。今あるコーディネーターとの役割分担も含め議論していく。

教えて!!帯状疱疹

日本人の約90%以上の体内の神経節に潜伏している子どもの頃に感染した水ぼうそうのウイルスが疲労やストレス、基礎疾患や加齢に伴う免疫力の低下によって再活性化して発症する病気です。2014年に幼児の水ぼうそうワクチンが定期接種になってからの発症率は50歳頃から急激に上昇して80歳までに3人に1人が発症するといわれているんだよ。

身体の半分に出るのが特徴で、症状に個人差はあるけど多くは上半身にピリピリした痛みのもと、赤い発疹が出て強烈な痛みになる。顔や目、頭にできることもあって失明の可能性もあるんだよ。また、ウイルスが神経を傷つけ帯状疱疹後神経痛になると3カ月以上痛みが続き、その後一生痛みに悩まされる場合もあるんだ。

不活化ワクチンができたことで、これまでの生ワクチンは接種できなかった重症化のリスクが高い免疫低下の疾患がある人でも予防ができるようになったんだよ。

(19面関連記事)



傍聴記

初めての議会傍聴で場所も解らず職員さんに尋ねていると、町長さんが来られて一緒に行きましょうと声をかけて下さり緊張がほぐれました。

議会では、質問した議員さんに町が答弁をしていきますが、その答弁が素人で勉強不足の私にはどうも曖昧で、この事について、これから町はどう取りくむのかやるのかやらないのか、前むきに考えているのか等解りづらい事が多く残念でした。

例えば観光客にやさしい案内看板をとの事に対して設置しているとの答弁でしたが、困っている方をよく見かけます。

町民の声がどこまで行政に届いているのか、若者定住政策、高齢者支援、子育て支援等、実際に何をしているのか町民には見えてこない事が多くあります。

津野町は合併してまもなく20年が経ちますが、旧村意識がまだまだある事を日頃感じています。

議員数でも西地区は少なく西地区だけが置き去りにされているという声を耳にするのも確かです。

町政に興味のない人は、議会だよりすら見ない人もいます。

実際に議員さんの顔も知らず、全く話した事もないという人が多数です。

津野町の議員なのだから誰もが気軽に声がかける相談ができるよう、何かの形で交流していけたら、津野町が一つになれる原動力になれるのではないのでしょうか。

議員さんは、地元も勿論大切ですが、津野町全体を見ていただきたいと思いました。

町内にある物をしっかり探して津野町の宝物にする、住みやすい津野町にしたいだけけるよう期待とお願いをして傍聴記とします。

津野町力石 川田美恵子

定例会は9月・12月・3月・6月に本庁舎3階で開催します。傍聴をお待ちしています。



議会のひびき

8月

- 2 〓 高幡東部清掃組合議会定例会 (須崎市・議長外)
- 高幡市町村圏事務組合議会定例会 (須崎市・議長)
- 高幡消防組合議会定例会 (須崎市・議長)
- 23 〓 全員協議会 (本庁・議員)
- 高原畜産センター臨時総会 (町内・議長)
- 26 〓 産業祭実行委員会 (本庁・議長外)
- 30 〓 議会運営委員会 (本庁・委員)

9月

- 2 〓 第6回津野町議会定例会開会 (本庁・議員)
- 議員懇談会 (本庁・議員)
- 公有財産有効活用調査特別委員会 (本庁・議員)
- 3 〓 決算連合審査会 (本庁・議員)
- 総務常任委員会 (本庁・委員)
- 4 〓 休会 (7日)
- 8 〓 一般質問 (本庁・議員)

10月

- 9 〓 一般質問・議案審議 (本庁・議員)
- 議員懇談会 (本庁・議員)
- 28 〓 高幡東部清掃組合議会定例会 (中土佐町・議長外)
- 30 〓 産業祭実行委員会 (本庁・議長)
- 6 〓 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 7 〓 タブレット講習会 (本庁・議員)
- 14 〓 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 20 〓 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 21 〓 第7回臨時会 (本庁・議員)
- 26 〓 全員協議会 (本庁・議員)
- 高知県町村議会議長会理事會 (高知市・議長)
- トップセミナー (高知市・議長外)



定例会の様子

編集後記

9月定例会は新人・元職など7人が一般質問。9人が傍聴され執行部との質疑を注目する議会であった。

今年8月中旬は長雨が続き各地で災害発生。野菜等に8億3千万円の被害が出て野菜価格も高騰した。

オリ・パラリンピックの開催で日本選手が活躍しメダル獲得が目された一方で、新型コロナウイルス感染者が急増した夏だった。

9月以降は感染者の減少傾向が続いているが、秋も深まっていくと要注意。冬場は空気が乾燥する季節。引き続き外出時には必ずマスク着用と消毒、そして帰宅後はうがいと手洗いを励行しよう！

(文責 田中一孝)

読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。



答えは今月号の議会だよりの中にあるよ!!

1. 耐震でとり壊すことになった自然①○○○○村管理センター
2. 本年から4年かけて編さんし、発行予定の○②○○○○
3. 来年1月に設置予定の③○○家庭総合支援拠点
4. 効果的な④○○○対策は猟友会を含めた組織で検討する
5. 10月の6日、14日、20日は議会○○⑤発行調査特別委員会

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入のうえ、11月未だに下記の事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。もしご応募下さい。残念ながら今回当選されなかった方も、またチャレンジして下さいね!

★新しくオープンした観光施設も有料で体験できるコーナーを作ると観光産業の拡大に更につながっていくのでは。

★新議員が決まり、これらの活躍を期待していますが、初心を忘れず津野町を良くする為に頑張ってもらいたいと思います。

お寄せいただいた感想
ご意見の一部紹介

前回の答えは「スイカワリ」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。



当選者へのプレゼント

当選者

永野	前田	伸江	様
三間川	三本	秀美	様
芳生野	川西	理恵	様
大野	白石	真弓	様
北川	熊田	敬子	様

実りの秋（貝ノ川の棚田）



葉山中学校稲刈り

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。
〒78510201
津野町永野四七一一
津野町役場議会事務局

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	津野町議会だより 発行調査特別委員会
田中一孝	川上智子	大地真人	中山昭英	竹村博仁	西元和代	

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。